

熟練の歌声を披露

日ごろ鍛えた自慢の歌声や稽古を積み重ねた舞踊などを発表する高齢者芸能発表会が、10月19日追分公民館で開催されました。

当日は舞踊やカラオケ、詩吟、民謡、ダンスなど36演目、総勢65名がエントリー。芸達者な出演者だけでなく、観覧者にも盛り上げ上手な方が多く、合いの手やお囃子で会場を沸かせていました。



ホッカイドウ競馬 協賛レース観戦ツアー

安平町では、一昨年よりホッカイドウ競馬企業等協賛競争への協賛と、協賛レース観戦ツアーを行い道営競馬を応援しています。

10月23日 今年最後となる安平町協賛レースに合わせて実施されたツアーには、20名余りの町民が参加し「安平町チーズ賞」と「安平町雪だるま賞」の2レースを含む競馬を楽しみました。

なお、協賛レースの勝者の馬主らには農林課長より表彰が行われました。



早来中2年生が町内で職業体験

ふるさと教育・学社融合事業を推進する安平町教育委員会と早来中学校が協同し、生徒が町内18箇所の企業や事業所での職業体験を実施しました。

10月25日、飲食店や病院、食料品販売店、ガソリンスタンドなどで実際に働く人と接し、将来の自分の職業を考える機会を与えられた生徒たち。安平町を支える「働く人とふれあう」ことで、これからの地域との関わり方を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



もしも…に備え80名で演習を実施

火を取扱う機会が増える北海道では、これからの更に火の元への注意が必要となる季節となります。

火災が起こらないのが一番ですが、もしもに備えた消防演習が、10月28日、遠浅地区の神社の境内の火災を想定して行われました。消防士に加え消防団員を含めた総勢80人余りが本番さながらの消火活動と救助訓練を実施。

現在、夜回りを実施し、町内4地区の消防団との連携など消化体制の維持強化に努めた活動をしています。



追分第1町内会自主防災会に認定書を交付

10月29日、町内で最初の自主防災組織を設立した追分第1町内会に自主防災組織認定書が交付されました。

同会は、5月に自主的に自主防災組織を立ち上げ、組織内における役割分担や組織連絡体制を定め、救急救命講習会を行うなどの積極的な活動を行っていきます。町では10月1日から運用を開始した「自主防災組織育成支援要綱」に基づき、追分第1町内会自主防災会を自主防災組織として認定。今後交付金の支出などの支援を行っていきます。

